

社会課題解決への貢献で自らの持続的成長を目指す (積水化学グループの企業経営)

2026年1月31日
積水化学工業株式会社
代表取締役社長 加藤 敬太

- ▶ **1.中長期的かつ持続的な成長に向けて
～"Vision 2030"にかける想い～**
- ▶ **2.フィルム型ペロブスカイト太陽電池事業の進捗**
- ▶ **3.株主還元について**

* 本資料の億円表記の数値に関しては、億円未満を四捨五入で表示しています。

社 名

積水化学工業株式会社 (SEKISUI CHEMICAL CO.,LTD)

設 立

1947年3月3日

資 本 金

1,000億円

代 表 者

代表取締役社長 加藤敬太

従 業 員 数

26,918名 (2025年3月末日現在)

売 上 高

12,978億円 (2025年3月期連結ベース)

営 業 利 益

1,080億円 (2025年3月期連結ベース)

本 社

大阪本社

〒530-8565 大阪市北区西天満2丁目4番4号

東京本社

〒105-8566 東京都港区虎ノ門2丁目10番4号



ペロブスカイト太陽電池



大阪本社 (リニューアル)



東京本社

1.中長期的かつ持続的な成長に向けて ～"Vision 2030"への思い～

- ①イノベーションの持続的創出
- ②礎となる人的資本の磨き上げ
- ③サステナビリティ貢献製品の持続的拡大

積水化学グループは「ESG経営を中心においた革新と創造」で、 社会課題解決への貢献拡大を目指す

Innovation for the Earth

サステナブルな社会の実現に向けて、
LIFEの基盤を支え、“未来につづく安心”を創造します。

売上2兆円

営業利益率10%以上

ESG経営を中心においた革新と創造

レジデン
シャル

アドバンス
トライフライン

イノベーター
タイプモビリティ

ライフ
サイエンス

ネクスト
フロンティア

脱炭素および、循環型社会の実現
(労働力・資源・環境が持続可能な生産)

ひとびとの健康な生活の確保と、福祉の充実
(健康・福祉社会の実現)

安全な水と持続可能なエネルギーの利用
(水・エネルギー資源の活用)

持続可能なインフラ、まちづくり、居住環境および、通信環境の提供
(災害に強いインフラ・都市・居住環境や通信環境の提供)

先取り・加工・変革

一人ひとりの挑戦

企業統治

＜ ビジョンステートメント

＜ ターゲット
(数値目標) (戦略の方向性)

＜ ドメイン

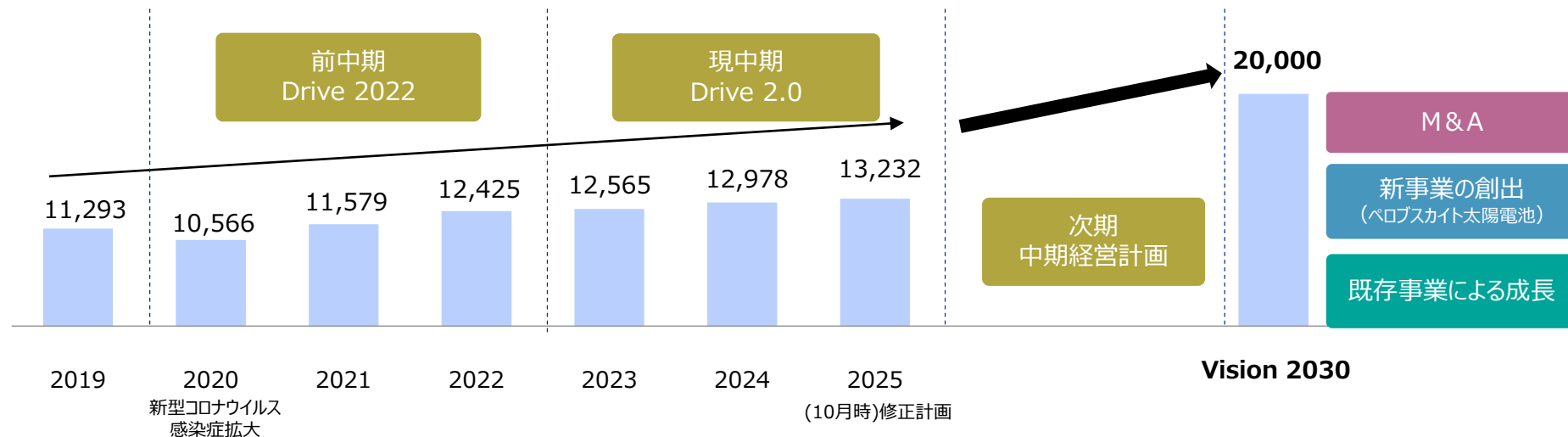
＜ 社会課題

＜ ケーパビリティ
(組織能力)

1. 中長期的かつ持続的な成長に向けて／連結業績推移

前中期にて成長にドライブをかけ、現中期では成長をけん引する事業に経営資源を集中し、勢いを確実なものに。次期中期では成長ドライブを加速。

売上高推移（億円）

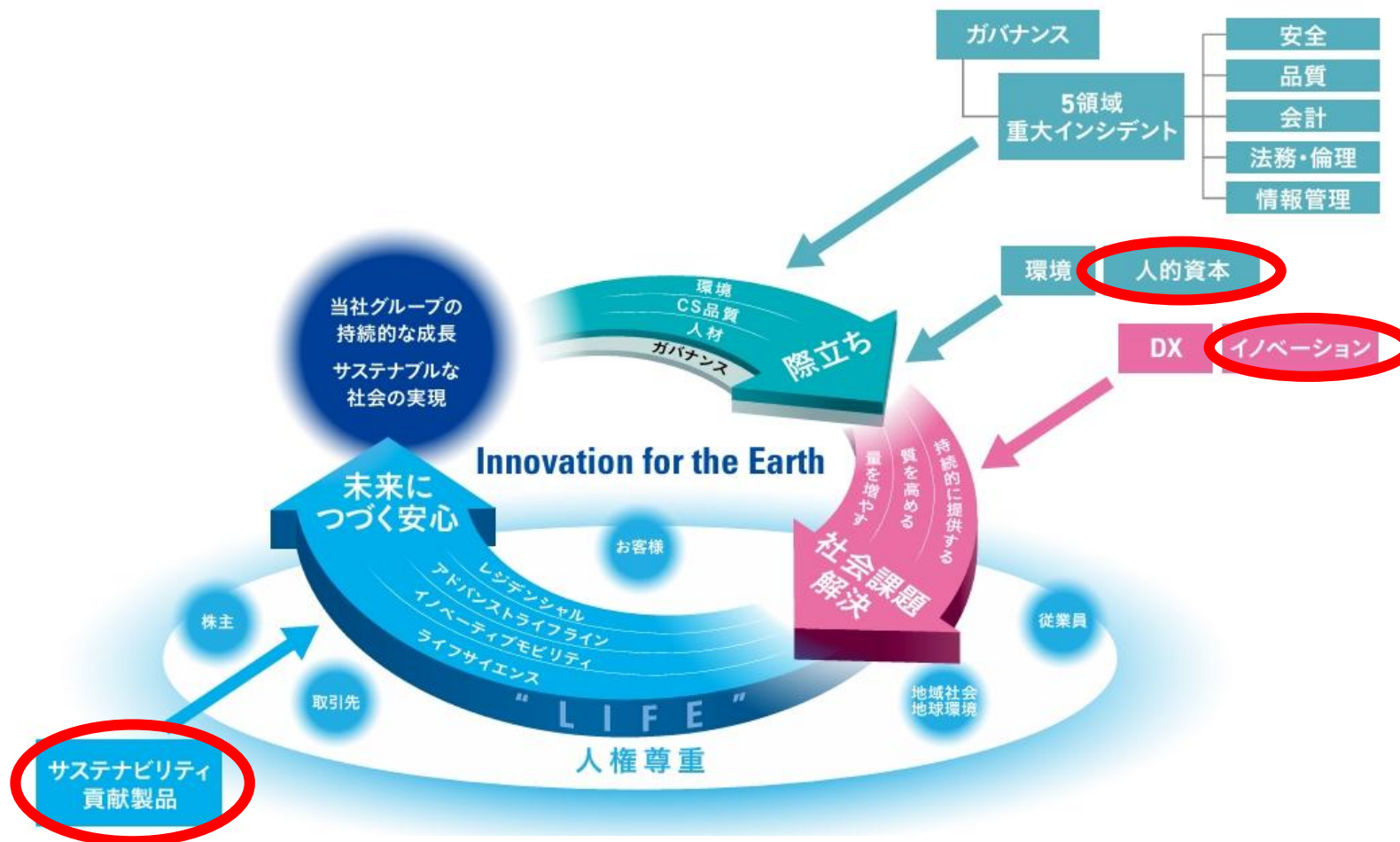


戦略設備投資

案件	投資額	稼働予定時期	狙い
ペロブスカイト太陽電池	約900億円	27年度	100MW製造ラインの新設
中間膜製造工場増設 (N-HPP*生産ライン)	約80億円	26年度下期	自動車市場の成長と新エネルギー車（EVなど）へのシフトに伴う需要拡大への対応
先端半導体製造用工程材料の 国内生産能力増強 および台湾R&D拠点の新設	約50億円	27年度上期 (R&D拠点は 25年4月に稼働)	AI（人工知能）や高速通信向けの最先端半導体、車載向けパワー半導体など需要拡大への対応および品質管理強化
導電性微粒子生産能力増強	約20億円	28年度上期	次世代ディスプレイおよび車載分野での需要拡大への対応および品質管理レベル強化

* N-HPP：New高機能膜。従来の高機能膜から遮音膜を除き、それ以外のヘッド・アップ・ディスプレイ、遮熱、カラー/デザイン膜を総称するもの

マテリアリティ・重要課題



私たちが創業当時から大切にしてきたこと、

それは社是である3S精神のもと、大切なステークホルダーである皆様とともに、

「社会課題解決に貢献する価値あるイノベーションを創出する」こと

そして、ひとびとの暮らしと地球環境の向上に貢献し**企業として持続的成長**を実現すること



「社是:3S精神」

- ①Service:企業活動を通じて社会的価値を創造する
- ②Speed : 積水を千仞の谿に決するスピードをもって市場を変革する
- ③Superiority : 際立つ技術と品質で社会からの信頼を獲得する



積水化学グループの5つのステークホルダー

お客様、株主、従業員、取引先、地域社会・地球環境

社会課題解決に資する革新的な製品やサービスを生み出し、社会を変革してきた


「街の清掃革命」としてゴミ問題を解決
(急速な都市化による家庭ごみの増大に対応)



(ポリバール)

「工業化住宅革命」で高品質・短納期・安価な住宅を供給
(住宅供給量不足（高品質・短納期）に対応)



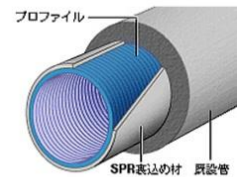
 **SEKISUI HEIM**
(ユニット住宅)

自動車ガラスの飛躍的な安全性向上
(自動車普及による事故の増加に対応)



S-LEC
SUSTAINABILITY - LEADING EVERY CONNECTION
(中間膜)

管路更生によるインフラの長寿命化
(社会インフラの急速な老朽化に対応)

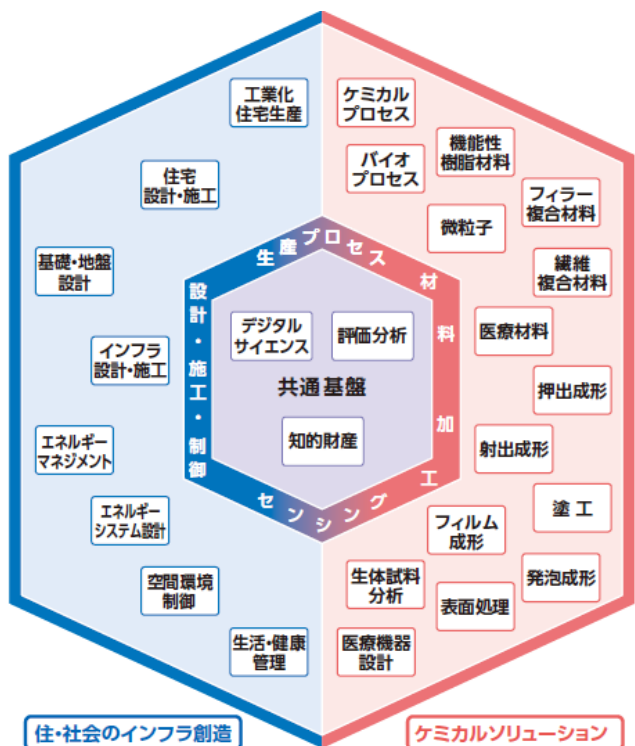


(SPR工法)

コア技術を組み合わせたイノベーションで新技術や新製品を創出

技術プラットフォーム

技術プラットフォームを設定し、技術を強化・育成



技術の組み合わせによる製品展開例

複数の技術プラットフォームを組合せ、新市場・新領域を開拓

半導体の高性能化・省電力化に貢献

高接着易剥離
UVテープ
「SELF A」



機能性
樹脂材料

×

塗工

検査の迅速化・高精度化による 医療の質の向上に貢献

LRG検査薬



生体試料
分析

×

微粒子

再生可能エネルギーの 普及拡大に貢献

ペロブスカイト
太陽電池



機能性
樹脂材料

×

塗工

×

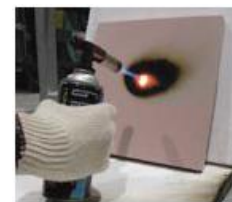
フィルム成形

×

エネルギー
システム設計

建築途中・建築後の 延焼を抑制

不燃ウレタン
「バックスフレ임」



フィラー
複合材料

×

インフラ
設計・施工

創業以来、「先取り」「加工」「変革」の力でイノベーションを創出

SEKISUI
「加工の匠」

原料を持たない化学メーカー



「**加工**」に特化

原材料へのこだわり不要
「あらゆる原料を使いこなす」

顧客の多様なニーズを実現する
最適な「**機能**」「**ソリューション**」を提供

先取り

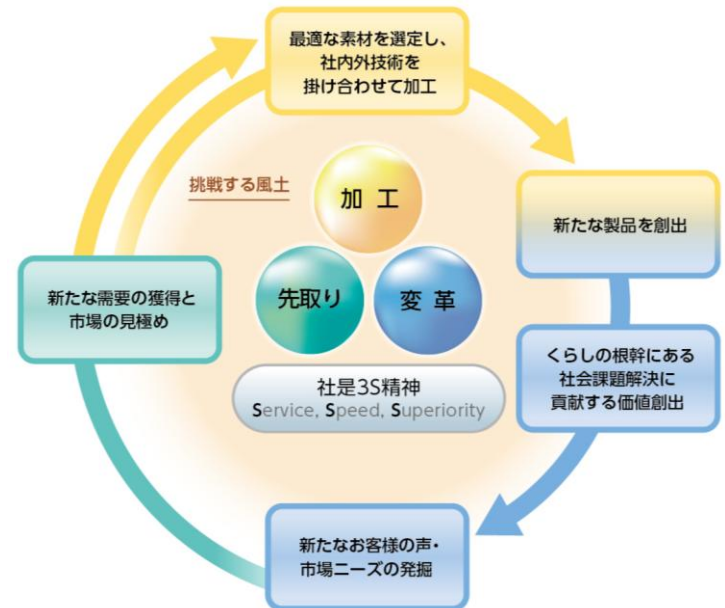
市場の変化や社会のニーズを先んじてとらえ、
コア技術の強みが発揮できるかを見極める力

加工

社内や社外の技術を掛け合わせて
独自のソリューションを生み出す力

変革

生み出した製品やサービスをもとに
新たな価値を創り出し社会を変革する力



「全従業員が挑戦したくなる活力ある会社」を実現し、
「革新や創造による社会課題解決への貢献拡大」につなげる

「従業員は社会からお預かりした貴重な財産である」との考えに基づき、
従業員一人ひとりが自分の“得意技”を磨き、“挑戦”を通じて成長していくことを支援

挑戦する風土醸成

挑戦の「場づくり」

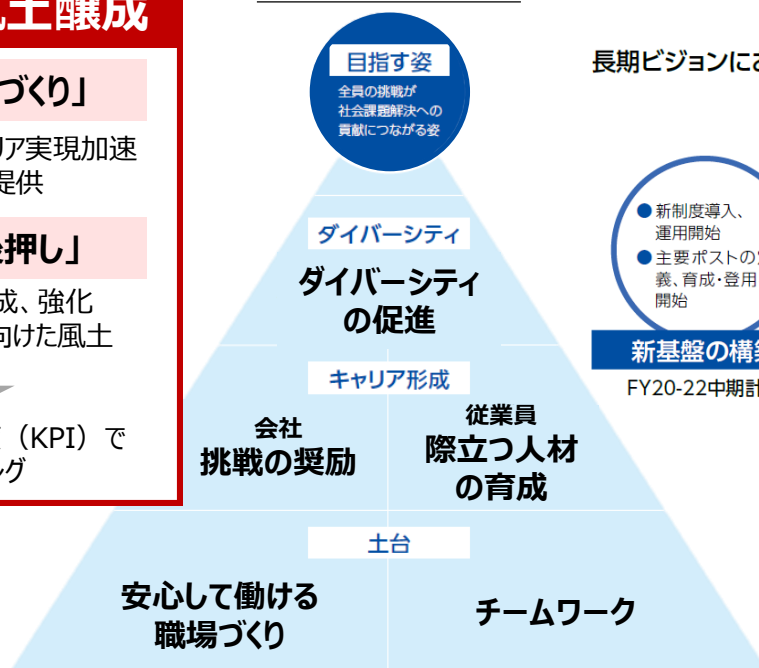
- ・手挙げによるキャリア実現加速
- ・チャレンジ機会の提供

挑戦の「後押し」

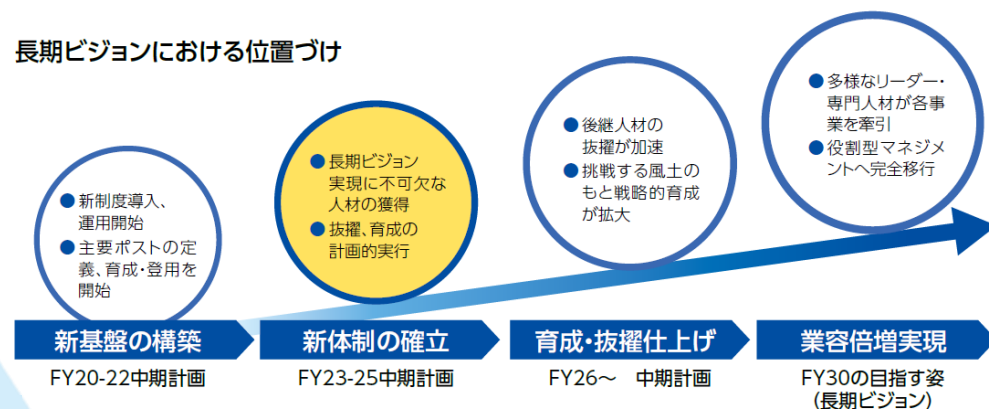
- ・挑戦風土の醸成、強化
- ・キャリア自立に向けた風土

挑戦行動発現度（KPI）で
モニタリング

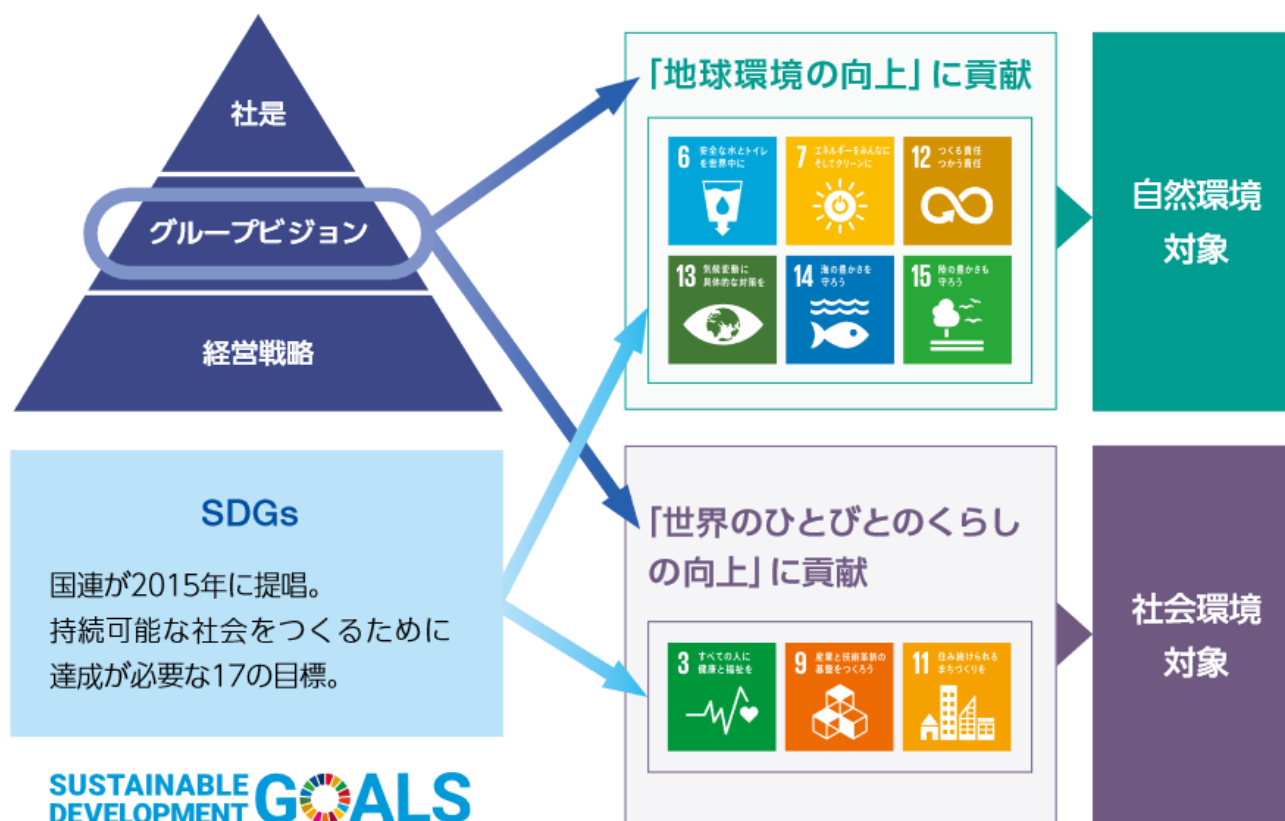
人材に対する基本方針



長期ビジョンにおける位置づけ



サステナビリティ貢献製品：「サステナブルな社会の実現と 当社グループの持続的な成長の“両立”」を最もよく表す製品



サステナビリティ貢献製品として、環境や社会に貢献する製品、サービスを創出

スマートハイム



太陽光発電・蓄電池を搭載。**CO2排出量削減**に貢献し、**自然災害**があっても暮らしを守る

雨水貯留システム 「クロスウェーブ」



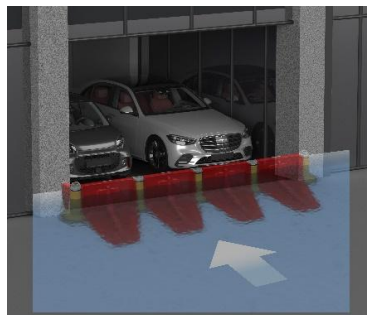
高い空隙率で高耐荷重。**豪雨**時の河川流入量を調節し、**下水道オーバーフロー抑制**

高性能ポリエチレン管 「エスロハイパー」



腐食せず、柔軟性に優れ、**地震や地盤沈下**が生じても破損・漏水しない高耐久性

浸水対策 「セキスイ止水板プラバリア」



軽量で簡単に設置ができ、**ゲリラ豪雨**などへの**浸水対策**が可能（省スペース保管）

ヘッド・アップ・ディスプレイ用 くさび形中間膜



ヘッドアップ・ディスプレイシステムへの鮮明な画像投影を実現し、**視認性を高める**ことによって、自動車運転時の**ドライバーの安全性向上**に貢献

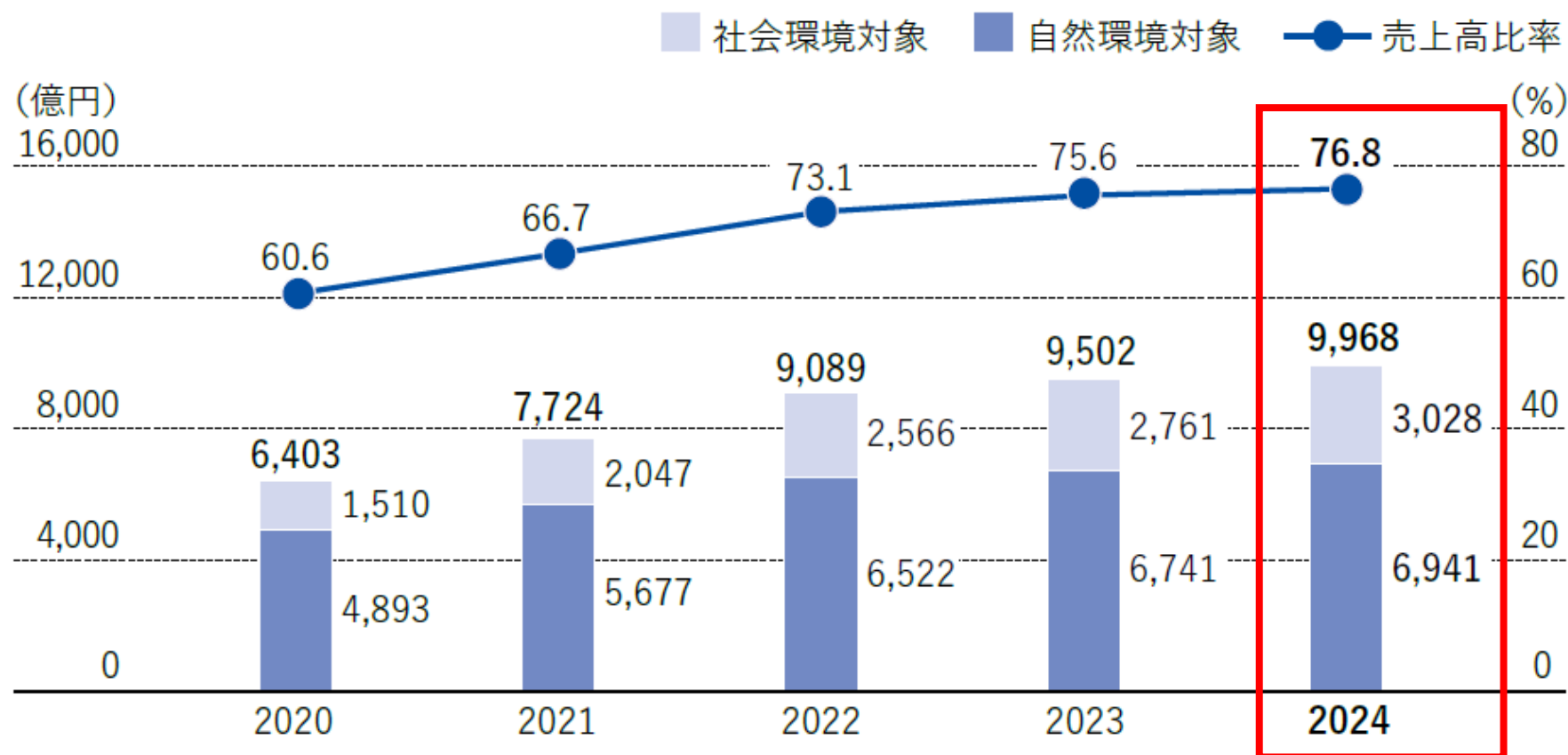
検査事業 「感染症迅速検査キット」



病気を**早期発見**し、重症化や感染の拡大防止によって**健康寿命の延長**に貢献

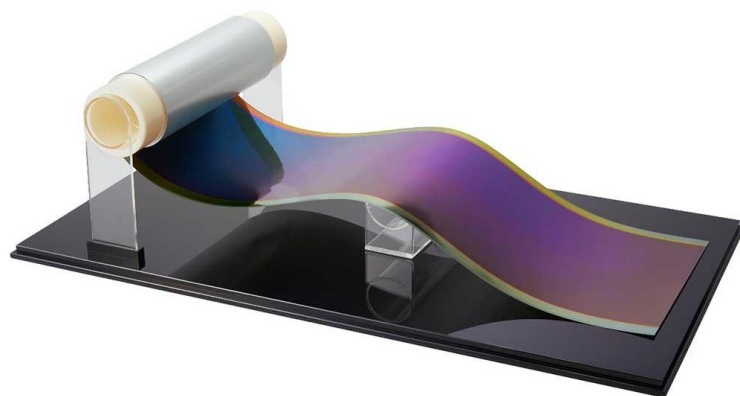
事業そのものを通じた社会課題解決への貢献

サステナビリティ貢献製品の売上高・比率の推移

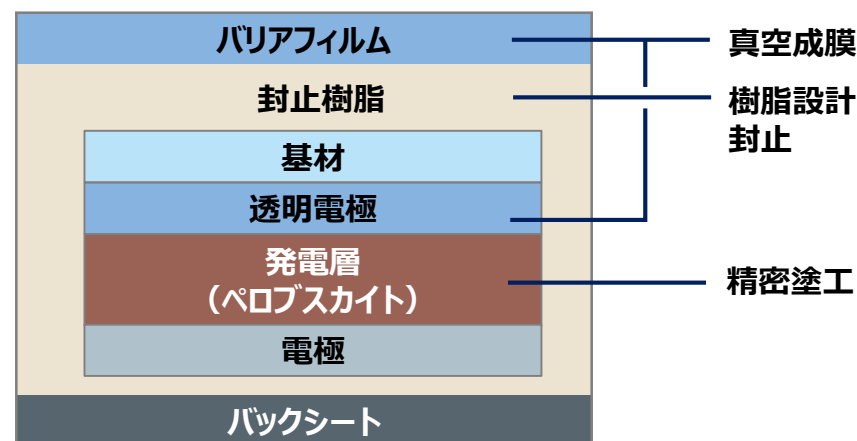


2.フィルム型ペロブスカイト太陽電池事業の進捗

脱炭素社会に貢献する、軽量かつ柔軟で、当社の独自技術が詰まった次世代太陽電池



【 ペロブスカイト太陽電池の断面構造と技術 】



項目	特長	備考
軽量	約1.0kg/m ²	1/10程度（Si-PV対比）
柔軟性	曲率半径15cm程度	—
厚み	約1mm	1/20程度（Si-PV対比）
主原料	ヨウ素	世界の30%を日本で産出

軽量で柔軟な特性を活かし、設置場所が限られる都市部などにも広がる可能性

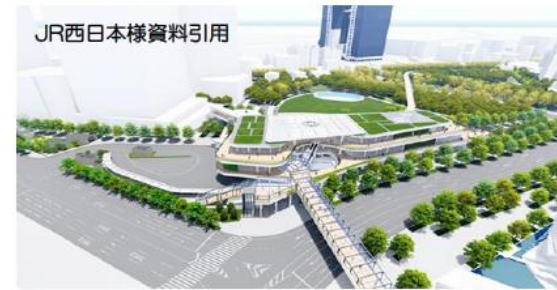


PSC 設置イメージ

ビル壁（内幸町再開発事業）



空港アセット



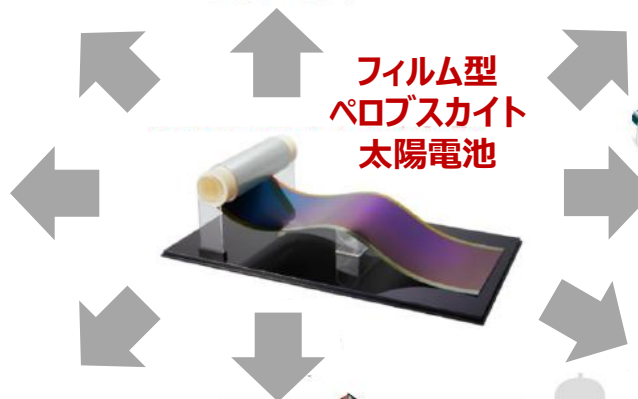
鉄道アセット (JR西日本様連携)



下水覆蓋
(東京都様連携)



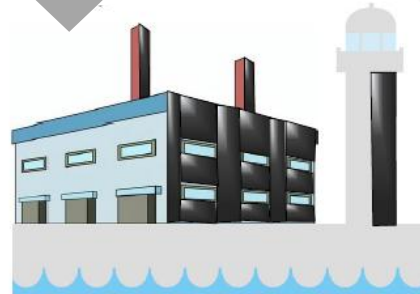
軽量屋根
(工場屋根・体育館など)



フィルム型
ペロブスカイト
太陽電池



道路アセット



港湾アセット
(倉庫・灯台・堤防など)



沿岸建屋
(JERA様連携)

...

積水ソーラーフィルム株式会社を新たに設立



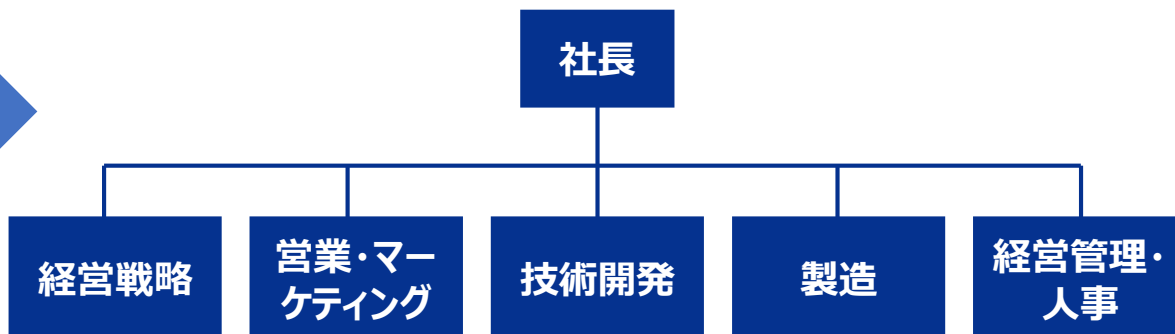
設立	2025年1月6日
所在地	大阪市北区西天満2-4-4
代表者	上脇 太
事業内容	ペロブスカイト太陽電池の製品設計、製造、販売
資本金	1億円
出資比率	積水化学86%、日本政策投資銀行14%

積水化学工業
PVプロジェクト

ライセンス
貸与

基礎技術開発

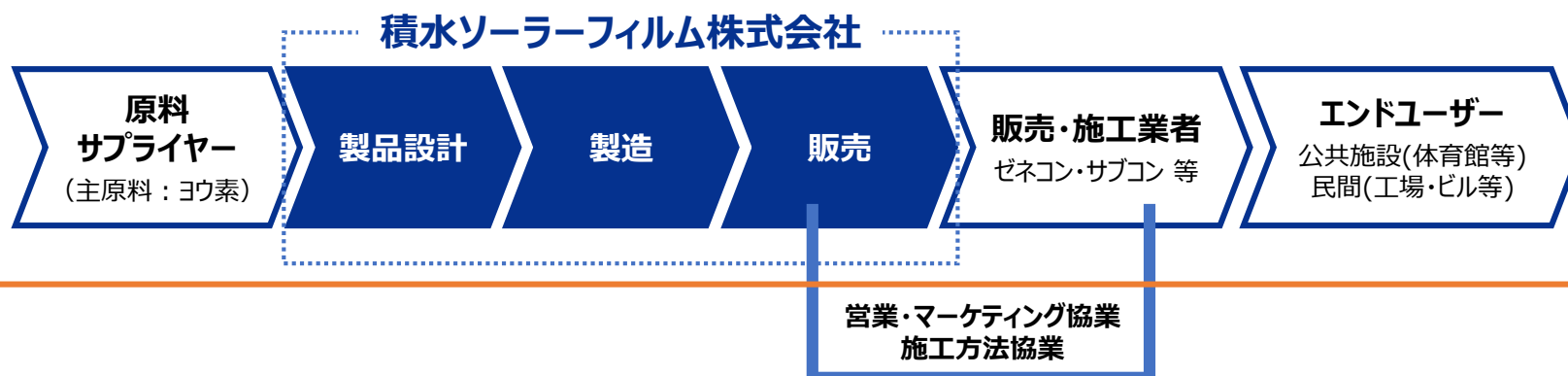
積水ソーラーフィルム株式会社



オールジャパン構想により、強靱なサプライチェーンを構築

次世代型太陽電池の導入拡大及び産業競争力強化に向けた官民協議会

- ・関係省庁、自治体、国内メーカーなど約250団体が参加
- ・次世代型太陽電池の導入拡大に向けた戦略を策定



TOPIC

2025年日本国際博覧会協会より「持続可能な取り組みに関する表彰（脱炭素部門）」に選定



実証実験内容（一例）

- ・大阪・関西万博（バスターミナル夜間LED照明）

成果

- ・開催期間中のフル発電およびLED照明点灯を確認

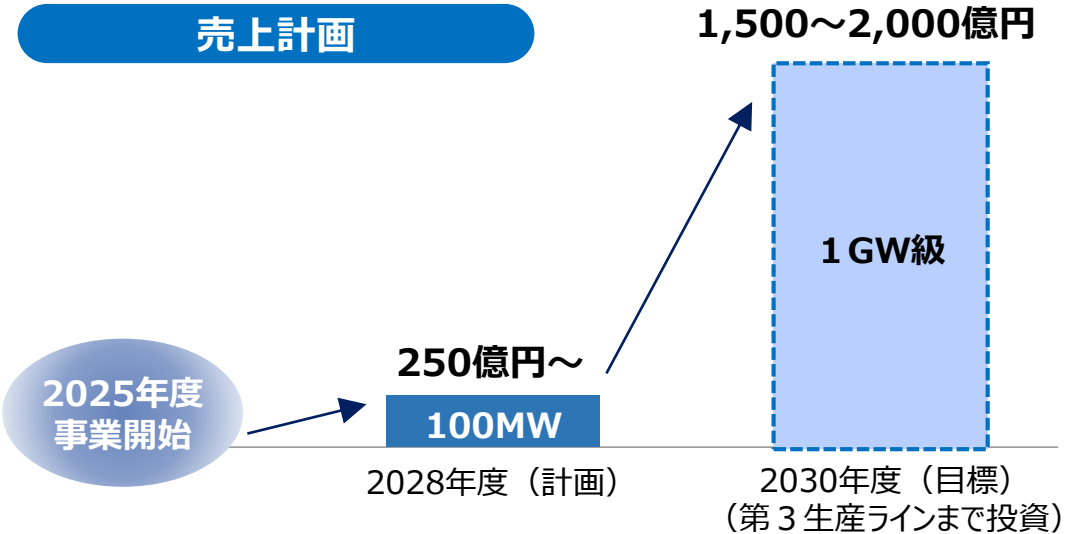
100MW（約31,000世帯の年間消費電力量）生産ラインを新設し、2027年度稼働予定
2030年度生産能力1GW～に向け、第2・第3生産ラインの増設も検討

	～2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030～
100MW 第1生産ライン 投資額 900億円			建築着工	設備搬入 試作			生産	
100MW 第2生産ライン構想 投資額 430億円～				建築着工	設備搬入 試作		生産	
600～800MW 第3生産ライン構想 投資額 1,800億円～						建築着工	設備搬入 試作	生産

堺工場 全景



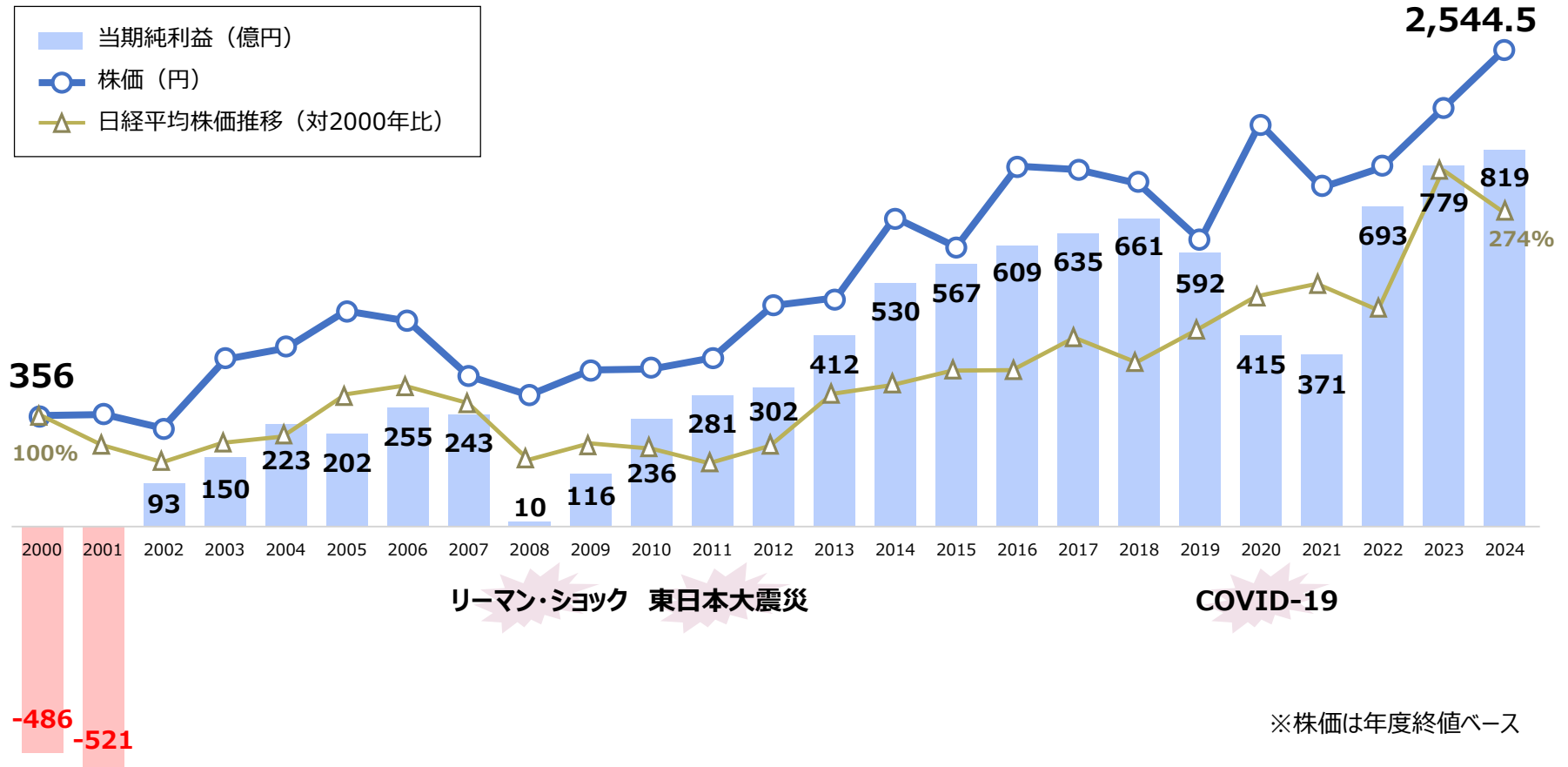
売上計画



3.株主還元について

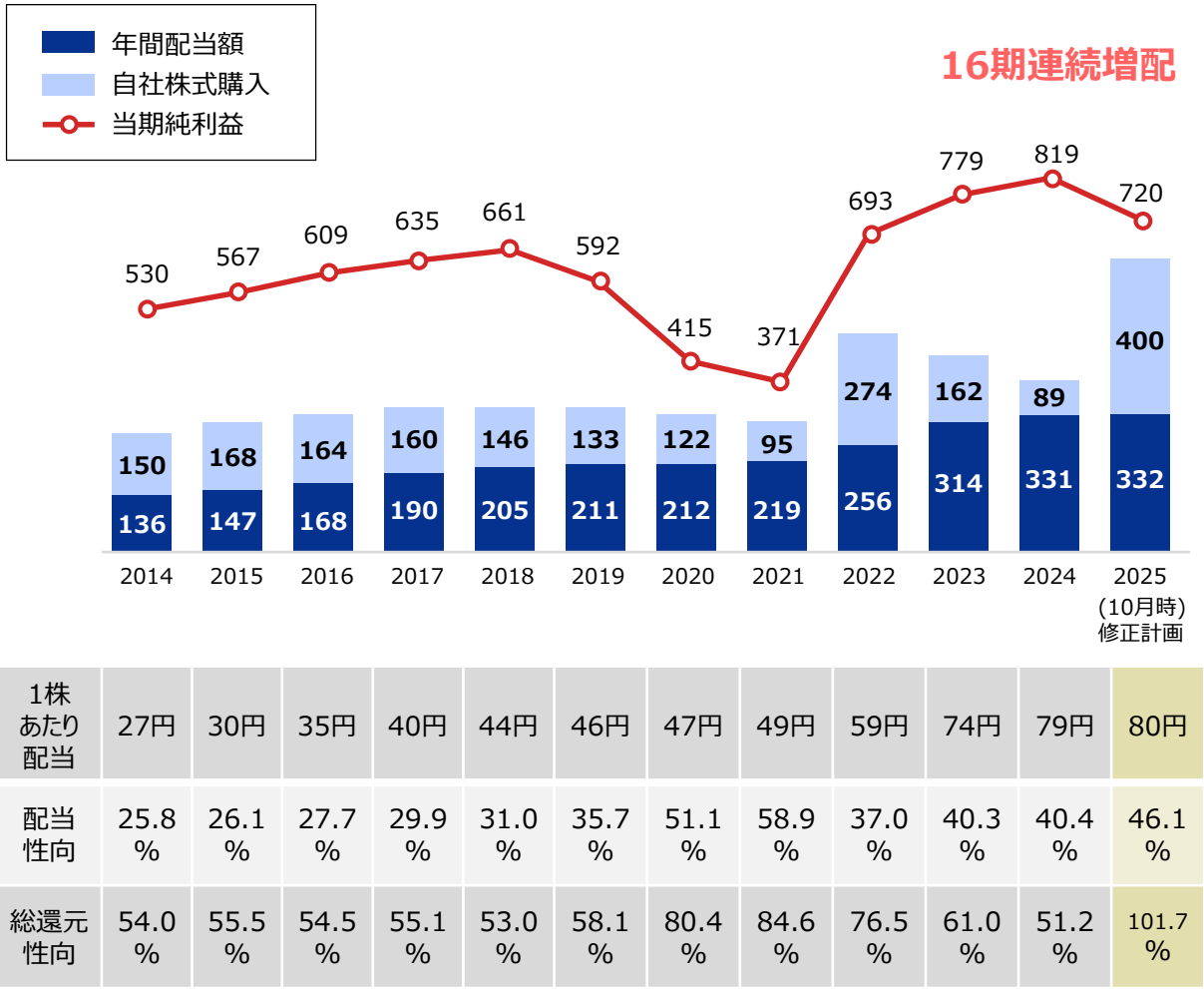
3.2000年以降の当期純利益・株価推移

経営危機以降、経営体制の見直し・効率化を実施
将来を見据えながら着実な成長を実現し、企業価値を向上




株主還元方針と実績

	前中期計画 (2020-2022年度)	現中期計画 (2023-2025年度)
配当性向	35%以上	40%以上
DOE	3%以上	3%以上
総還元性向	D/Eレシオ0.5以下であれば、50%以上	D/Eレシオ0.5以下であれば、50%以上 中期計画の投資進捗、キャッシュポジション、株価を考慮し、適宜追加還元実施
自己株式消却	発行済株式総数の5%以内となるよう、新規取得見合い分を消却	発行済株式総数の5%以内となるよう、新規取得見合い分を消却



注：2025年の自社株式購入は上期実績100億円と下期上限300億円の合計値



新たな社会課題が次々と生まれるこの世界で
“未来につづく安心”を提供し続け、
サステナブルな社会を実現する。

皆さまのご支援は、私たちのありたい姿への“理解”と“共感”の形の1つと捉え、
支えていただいている皆さまとの対話を大切にしながら、その“想い”に応えることを目指します。

2025年度（2026年3月期）

第3四半期 決算説明資料

2026年1月31日

積水化学工業株式会社

代表取締役 専務執行役員 清水 郁輔

2025年度第3四半期実績および通期見通し

為替レート	2024年度			2025年度				
	3Q	4Q	下期	3Q	4Q	下期	4 Q計画 (10月)	下期計画 (10月)
前提	-	-	-	¥148/US\$ ¥172/€	¥156/US\$ ¥183/€	¥155/US\$ ¥181/€	¥148/US\$ ¥172/€	¥148/US\$ ¥172/€
実績 *期中平均	¥152/US\$ ¥163/€	¥153/US\$ ¥162/€	¥152/US\$ ¥162/€	¥154/US\$ ¥179/€	-	-		

※輸出は社内前提レート適用。為替感応度は社内前提レートで対USドル1円（円安）あたり営業利益+約5億円／年

2025年度第3四半期および第3四半期累計 損益概要

- 増収。3Q売上高は過去最高値を更新
- 3Q営業利益、経常利益ともに減益も、概ね計画（10月）通り
- バイオリファイナリー事業における実証実験の完了にともない、久慈プラントを撤収、清算。
減損損失149億円の影響大きく、最終利益は減益
- 自己株式購入（624万株／160億円）ならびに消却（1,000万株）を実施

★：過去最高値

(億円)	2024年度 3Q実績 (10-12月)	2025年度 3Q実績 (10-12月)	増減	2024年度 1Q-3Q実績 (4-12月)	2025年度 1Q-3Q実績 (4-12月)	増減
売上高	3,263	★ 3,301	+38	9,553	★ 9,599	+46
営業利益	286	275	▲12	774	729	▲45
経常利益	380	318	▲62	861	807	▲54
親会社株主に帰属する 四半期純利益	256	162	▲94	685	478	▲207

2025年度第3四半期および第3四半期累計 セグメント別

■ 高機能Pならびに住宅が増収増益。3Q全社営業利益は概ね計画（10月）通りの着地

■ 「その他」内訳：PV * ▲12億円、LB * ▲1億円、BR * ▲5億円、R&D他▲18億円

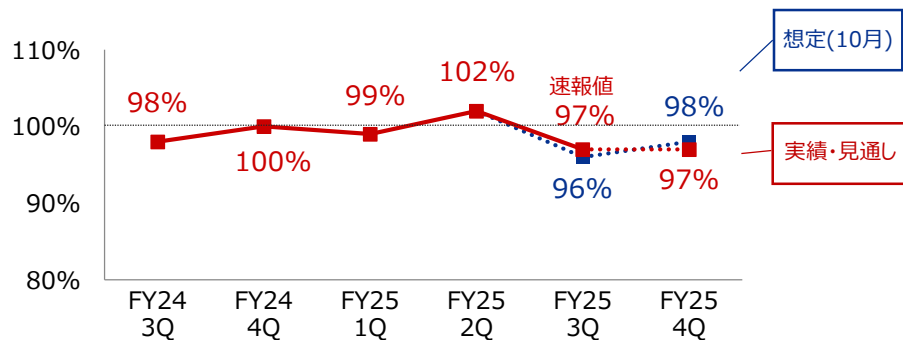
(億円)	2024年度 3Q実績 (10-12月)		2025年度 3Q実績 (10-12月)		増減		2024年度 1Q-3Q実績 (4-12月)		2025年度 1Q-3Q実績 (4-12月)		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
高機能P	1,120	156	★ 1,142	★ 157	+22	+1	3,331	455	★ 3,378	440	+47	▲14
住 宅	1,320	87	★ 1,364	★ 98	+44	+11	3,857	233	★ 3,951	261	+94	+28
環境LL	608	66	605	61	▲3	▲5	1,743	150	1,726	141	▲17	▲9
メディカル	251	33	238	28	▲14	▲5	730	93	680	73	▲50	▲20
その他	16	▲29	14	▲35	▲2	▲6	51	▲88	54	▲98	+4	▲9
消去又は全社	▲53	▲26	▲63	▲33	▲10	▲7	▲158	▲68	▲190	▲89	▲32	▲20
合計	3,263	286	★ 3,301	275	+38	▲12	9,553	774	★ 9,599	729	+46	▲45

*高機能P = 高機能プラスチックカンパニー *住宅 = 住宅カンパニー *環境LL = 環境・ライフラインカンパニー

*PV = ペロブスカイト太陽電池プロジェクト *LB = 定置型リチウムイオン電池事業 *BR = バイオリファイナリー事業

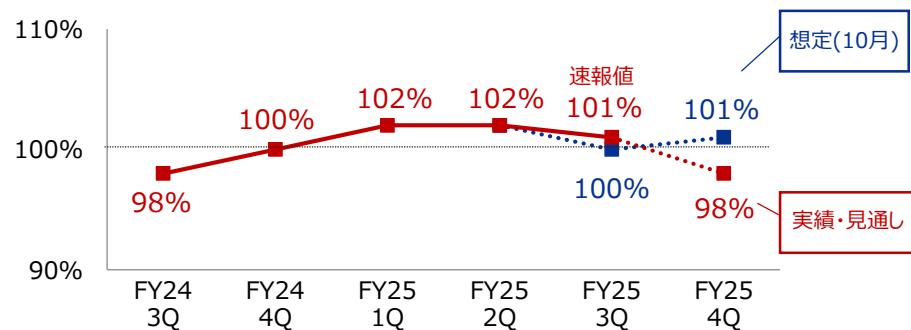
グローバル自動車生産台数 (前年同期比)

3Qは想定（10月）をわずかに上回るも、前年を下回って推移。4Qも同様の水準で推移する見通し



スマホ出荷台数 (前年同期比)

3Qは想定（10月）および前年をわずかに上回って推移。4Qは減速を見込む



住宅・集客 (前年同期比)

※[]内は想定（10月）

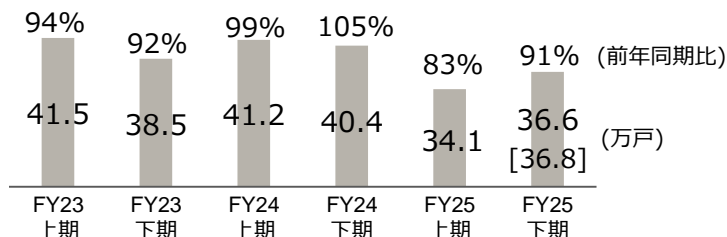
展示場来店は大きく減少。集客全体も前年を下回って推移。4Q以降も金利上昇、物価高等による消費マインド低下により低調に推移する見通し

	FY25 上期	FY25 3Q	FY25 4Q	FY25 下期
集客全体	97%	98%	95%	97% [95%]
資料請求 (WEB等)	92%	101%	99%	100% [95%]
展示場 来店	81%	81%	84%	83% [86%]

新設住宅着工

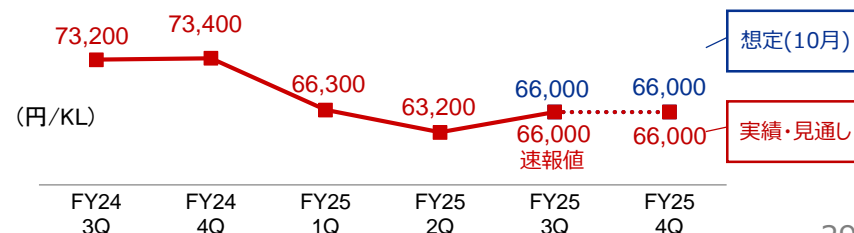
※[]内は想定（10月）

24年度の建築基準法改正に伴う駆け込み需要の反動減が下期も継続する見通し
※環境LL各製品の需要発現：住宅着工後4～6ヶ月



国産ナフサ価格

3Qは想定（10月）通りに推移。4Qも同様に推移する見通し



2025年度下期見通し セグメント別

- メディカルを除く3セグメント、ならびに全社で増収。全セグメントで増益を見込む
- 「その他」内訳：PV ▲24億円、LB ▲2億円、BR ▲11億円、R&D他 ▲33億円

(億円)	2024年度 下期実績		2025年度 下期見通し		増減		2025年度 下期計画 (10月)		差異	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
高機能P	2,262	314	★ 2,441	★ 334	+178	+21	2,404	334	+37	0
住 宅	2,704	169	★ 2,808	207	+104	+38	2,738	207	+70	0
環境LL	1,271	145	★ 1,305	★ 159	+35	+15	1,351	167	▲46	▲8
メディカル	513	68	502	69	▲11	+1	503	69	▲1	0
その他	41	▲57	43	▲71	+2	▲14	45	▲76	▲2	+5
消去又は全社	▲103	▲47	▲118	▲54	▲15	▲7	▲107	▲57	▲11	+3
合計	6,687	592	★ 6,981	646	+294	+53	6,934	646	+47	0

2025年度下期見通し（3Q、4Q別） セグメント別

- 4Qは4セグメントならびに全社で増収増益を見込む
- 3Qに引き続き、4Qも概ね計画（10月）通りの見通し

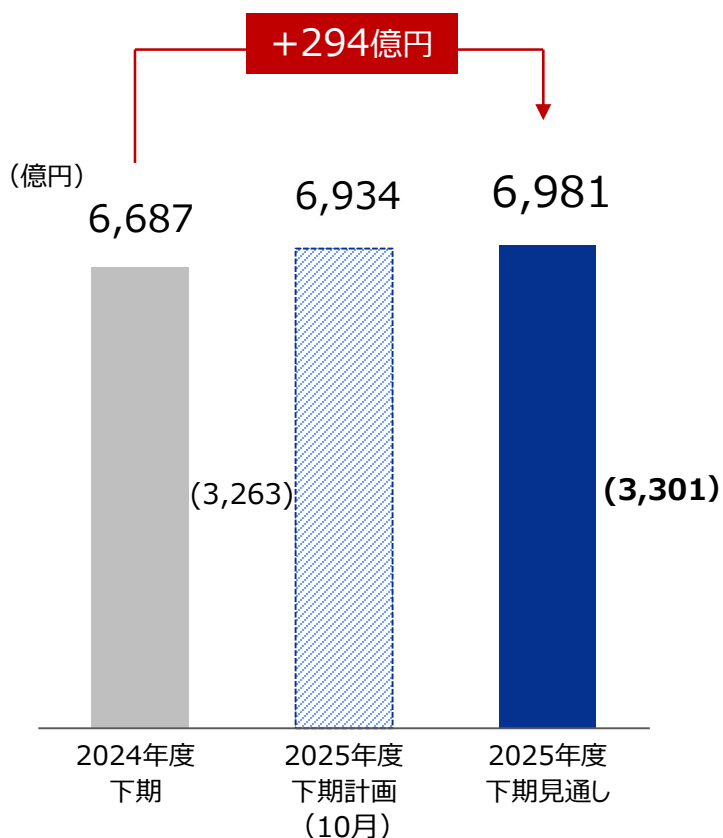
(億円)	2024年度 3Q実績		2025年度 3Q実績		増減		2024年度 4Q実績		2025年度 4Q見通し		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
高機能P	1,120	156	★ 1,142	★ 157	+22	+1	1,142	158	★ 1,298	★ 178	+156	+20
住 宅	1,320	87	★ 1,364	★ 98	+44	+11	1,384	82	1,443	109	+60	+27
環境LL	608	66	605	61	▲3	▲5	662	79	700	★ 99	+38	+19
メディカル	251	33	238	28	▲14	▲5	262	35	★ 265	★ 41	+3	+6
その他	16	▲29	14	▲35	▲2	▲6	25	▲27	29	▲35	+4	▲8
消去又は全社	▲53	▲26	▲63	▲33	▲10	▲7	▲51	▲21	▲55	▲20	▲4	+1
合計	3,263	286	★ 3,301	275	+38	▲12	3,424	306	★ 3,680	★ 371	+256	+65

2025年度下期見通し 要因分析

■ 国内外の市況低迷継続の影響大きく、「数量・構成」は計画（10月）を下回るも、「原料」良化や「為替」差益影響も寄与し、計画（10月）通り増収、増益の見通し

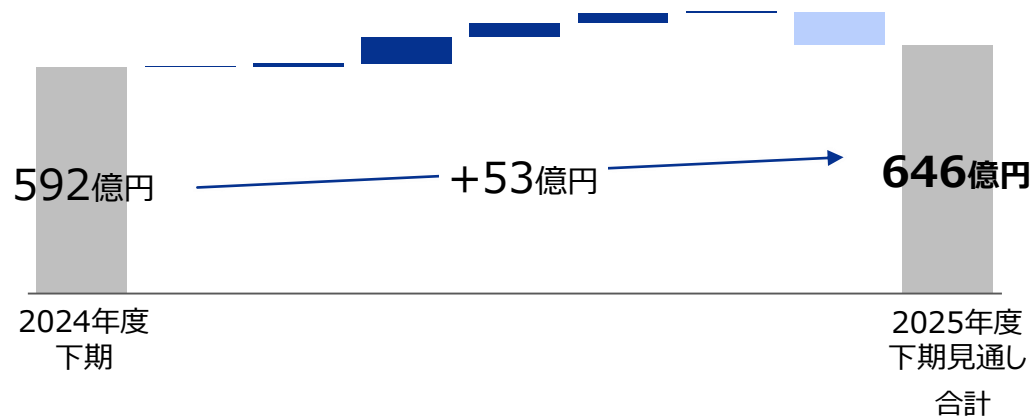
売上高

※（ ）内は3Q実績



営業利益増減要因分析

	連結増減	為替	数量・構成	高機能P▲21、住宅▲5、環境LL▲14、メディカル▲13	売値	原料	CR等	固定費	合計
下期計画 (10月)	+1	▲3	+112		+40	+1	+7	▲103	+53
下期増減見通し	+1	+8	+64	高機能P+45、住宅+30、環境LL+7、メディカル▲22	+33	+24	+3	▲79	+53



3Q増減	0	▲1	▲20	+29	+10	0	▲28	▲12
4Q増減	+1	+9	+84	+5	+14	+3	▲51	+65

2025年度通期見通し セグメント別

■ メディカルを除く3セグメント、ならびに全社で増収増益の見通し

■ 「その他」内訳：PV ▲43億円、LB ▲6億円、BR ▲21億円、R&D他 ▲63億円

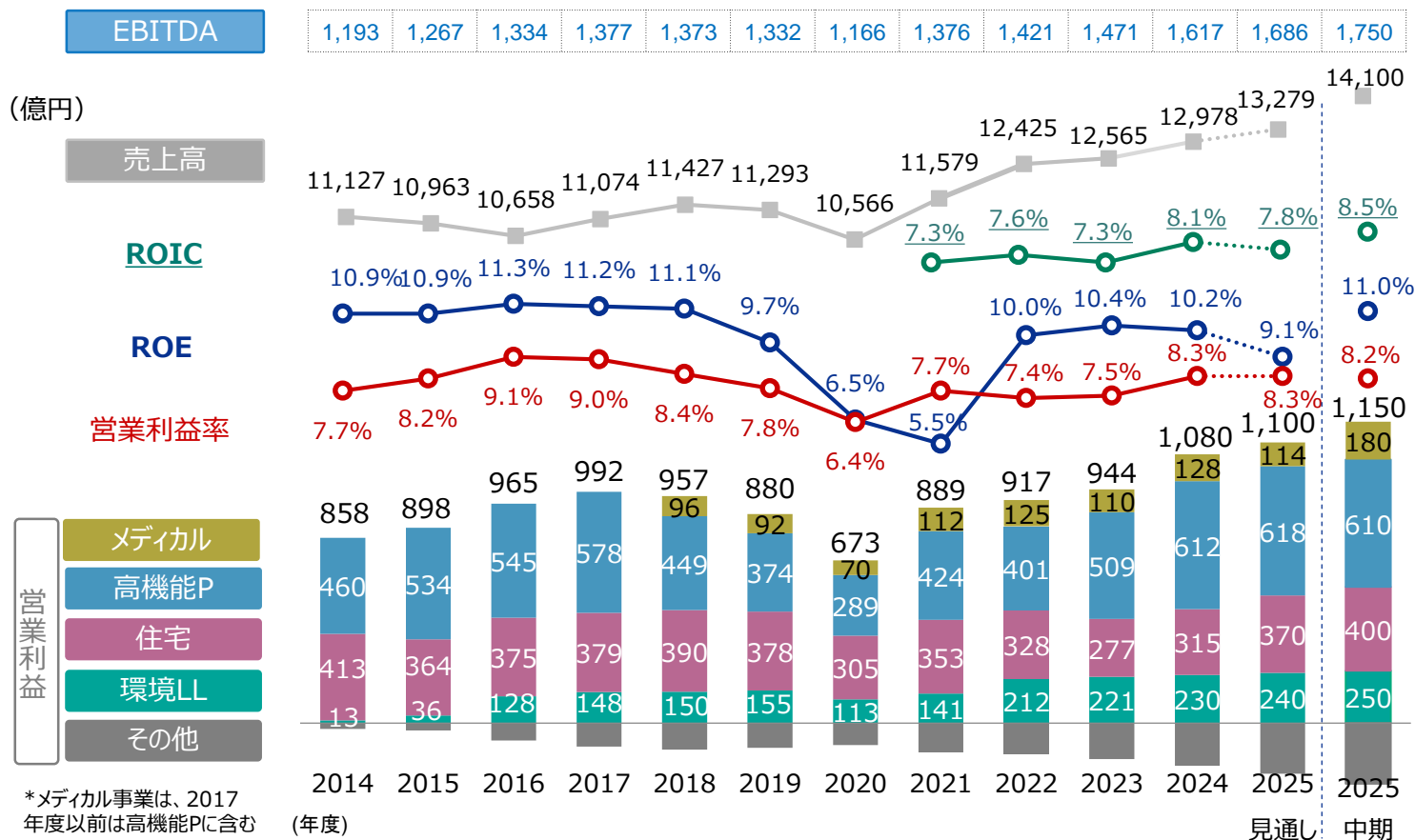
(億円)	2024年度 実績		2025年度 見通し		増減		2025年度 計画(10月)		差異	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
高機能P	4,474	612	★ 4,676	★ 618	+202	+6	4,639	618	+37	0
住 宅	5,240	315	★ 5,394	370	+154	+55	5,324	370	+70	0
環境LL	2,405	230	★ 2,426	★ 240	+21	+10	2,472	248	▲46	▲8
メディカル	992	128	945	114	▲47	▲14	946	114	▲1	0
その他	76	▲116	83	▲133	+7	▲17	85	▲138	▲2	+5
消去又は全社	▲208	▲89	▲245	▲109	▲37	▲20	▲234	▲112	▲11	+3
合計	12,978	1,080	★13,279	★ 1,100	+301	+20	13,232	1,100	+47	0

2025年度通期見通し 損益概要および株主還元

- 増収。営業増益、経常利益ともに増益、過去最高値更新の見通し
- 最終利益は計画（10月）通りの着地を見込む
- 配当は計画（10月）通り、1株あたり1円増配となる80円を計画。16期連続増配へ（期末配当は1株あたり40円）

(億円)	2024年度 実績	2025年度 見通し	増減	2025年度 計画 (10月)	差異
売上高	12,978	★ 13,279	+301	13,232	+47
営業利益	1,080	★ 1,100	+20	1,100	0
経常利益	1,110	★ 1,120	+10	1,120	0
親会社株主に帰属する 当期純利益	819	720	▲99	720	0
配当 (円/株)	79	★ 80	+1	80	0

■ 外部環境が変化していく中でも着実に成長。次中期ならびに長期ビジョンへ向けた仕込みが進捗



*メディカル事業は、2017年度以前は高機能Pに含む

*2022年度以降はポートフォリオ組替え後の数値を記載

カンパニー別ROIC

	2024	2025
メディカル	9.2	8.4
高機能P	12.7	12.0
住宅	12.7	14.2
環境LL	9.7	9.8

外部環境

2014年4月

消費増税
<5%→8%>

2018年3月

世界貿易
摩擦台頭

2019年10月

消費増税
<8%→10%>

2020年2月～

COVID-19
感染拡大

2022年2月～

ロシアによる
ウクライナ侵攻

2025年上期

米国
関税措置発動

為替レート	FY2014	FY2015	FY2016	FY2017	FY2018	FY2019	FY2020	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025	FY2025 中期
/US\$ (期中平均)	¥110	¥120	¥108	¥111	¥111	¥109	¥106	¥112	¥135	¥145	¥153	¥151	¥135

*2025年度は想定。
中期計画は23年5月時点

スライドに記載されている見込、計画、見通しなど歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいて作成されております。従って、実際の業績は、様々な重要な要素の変化により大きく異なる結果になりうることを、ご承知おきください。

* 本資料の億円表記の数値に関しては、億円未満を四捨五入で表示しています。

SEKISUI